



雲南地区保護司会
 (事務局:雲南市木次町木次1012番地1)
 <TEL・FAX(0854)42-3550>
 題字揮毫:渡部幸子元保護司
 印刷:出雲総合印刷企画社

罪を重ねる人たちの中には、貧困、様々な障害、厳しい生育環境等を抱える等様々な生きづらさがあり、立ち直りに多くの困難を抱えている人たちがいることから、刑事司法機関のみならず地域社会で息の長い支援をしていくことが国全体の重要な課題となっています。

政府においては、平成二十四年、「再犯防止に向けた総合対策」の策定を始め、平成二十八年十二月、再犯防止の理念や国と地方公共団体

とされています。その半面、全国的な犯罪傾向として、刑法犯により検挙された者のうち、再犯する人々の割合(再犯者率)がこの二十年以上にわたり上昇し、平成二十九年には四十八パーセント余となっています。

雲南地区保護司会を構成する一市二町は、いずれも悠然とそびえる山々や清流等美しい自然に恵まれた地域です。これらの地域に住まいの方々には、身近に犯罪や非行に遭われて不愉快な思いをすることは少なくなっていると思われます。その反面、全国的な犯罪傾向として、刑法犯により検挙された者のうち、再犯する人々の割合(再犯者率)がこの二十年以上にわたり上昇し、平成二十九年には四十八パーセント余となっています。

雲南市、奥出雲町、飯南町にお住まいの皆様におかれましては、平素、法務省が主唱する「社会を明るくする運動」を始め、保護司、更生保護女性会員、協力雇用主の方々が進められた犯罪や非行のない明るい社会づくりのための様々な活動に御協力や御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

雲南地区保護司会におかれましては、駿馬重弘会長を始め、保護司の方々による日々の御尽力により、地域の安全・安心に多大の貢献をされていることに改めて敬意を表します。



雲南市・奥出雲町・飯南町における再犯防止の取組に御理解御協力を

松江保護観察所長 穂坂英樹

の責務を明らかにした「再犯防止推進法」を策定、翌二十九年十二月には、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、国・地方公共団体・民間の緊密な連携協力を確保した再犯防止施策の総合的推進等の五つの基本方針と、罪を犯した人々への就労・住居の確保等の七つの重点課題・施策を盛り込んだ国における「再犯防止推進計画」を策定し、当局においても鋭意取り組んでいるところであります。

雲南市、奥出雲町、飯南町におかれましては、少子高齢化等の諸課題に向き合い、地域の活性化に向けて、様々な取組が行われておりますが、住民の皆様が、より一層の安全安心を体感でき、再犯防止に取り組むことが地域振興の基盤づくりに必要であるとの観点から、地域の更生保護関係者等と連携され、特色ある再犯防止推進計画を策定していただくよう心よりお願い申し上げます。

表紙の写真

白鳥

毎年、晩秋になると斐伊川の三刀屋町伊萱地内にシベリアから白鳥が飛来して来ます。近年、近隣の土木工事でその数は少なくなつたものの、それでも三十〜四十羽くらいが二月の中旬までこの地で過ごし、地域住民の目を楽しませてくれます。

第69回社会を明るくする運動

作文コンテスト入賞作品

山陰中央新報社賞

小学校の部

同じ犯罪を犯さないために

奥出雲町立阿井小学校 六年

勝部睦実

犯罪者が社会に復帰するには、地域や知り合いなどが、犯罪や非行をしてしまった人と二人三脚で歩んでいかないといけないのではないだろうか。

あるとき、ふとニュースを見ると、子どもが自分の親を包丁でさすという内容のニュースが流れていた。私は不思議に思った。私は自分の両親のことが大好きだし、家族と仲良く楽しく過ごしている。だから、なぜこの子どもは自分の両親をさしてしまったのか分からなかった。私は、この子どもの気持ちになって考えてみた。

原因の一つ目は、親の対応の仕方だと思う。大人が子どもに対してそっけない対応をした

り、プレッシャーをかけ過ぎたりすると、大きな負担が心にかかる、その状態が続くと、心が病んでしまうと思う。

原因の二つ目は、周りの人たちの対応だと思う。心に大きな負担がかかっている場合、本人はかくしていても、少なからず顔の表情や対応の仕方に、変化が表れるはずだ。その時点で、周りの人が相談にのったり、話しかけたりしていれば、心が軽くなり、罪を犯してしまうことはなかったのではないだろうか。

このような背景があり、子どもは親をさしてしまっただけではないかと思う。つまり、人とのつながり方に、事件の原因があったのではない

社会を明るくする運動の趣旨を踏まえ、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことや感じたことなどを書いたものです。

かと考えている。

その後、その子どもがどうなったのか、私は知らない。その子どもは、今は大人になって働いているのだろうか。もしかしたら、償った罪について、あれこれ言われ、非難の目を向けられていられるかもしれない。けれど、それはちがうと私は思う。

確かに、罪を犯してしまうことはいけないことだ。しかし、十分に償い、二度と罪を犯さないと心に決め、自分の過去と必死に向き合っている人達に、犯罪者という偏見や非難の目を向けることは、むしろ、罪を犯してしまったときの精神状態に逆もどりさせてしまうことだと思う。それが、再び犯罪行為に手を染めてしまう一つの原因になっているのではないだろうか。

私は、いままで、テレビなどで、犯罪のニュースが流れている時、「犯人最低」と口に

することが多かった。ふりかえってみると、犯人が罪を犯してしまった時の状況や気持ちを全く考えずに、こぼしていたと思う。これか

らは、「最低」「最悪」などの短い言葉で片付けず、どうして犯罪に至ってしまったのかを、様々な角度から考えたいと思う。そして、考え

たことをみんなに伝え、同じような犯罪をどうすればなくしていけるのか話し合っていきたい。

山陰中央新報社賞

中学校の部

ボランティアを通して学んだこと

雲南市立加茂中学校 二年

橋本 茉奈

私は、六月九日に、サンカクカフェというグループが主催の笹巻き作りに、ボランティアとして初めて参加しました。

このボランティアに参加しようと思いました。

サンカクカフェというグループは、加茂町で子育て中のお母さんや地域の方が交流しながら、多世代のコミュニケーションの場づくりを目指して活動しているグループです。

しかし初めて参加する会で、友達もいなかったのでも、最初はとても緊張していました。子供達も、私に慣れるまでそばに寄って来なかったのでも、何をしたらいいか、全く分かりませんでした。スタッフの方に何をしたらいいか指示してもらおうと思いましたが、忙しそうに「頑張ってるね」と言われるだけでした。そこから、自分で行動しないと何もしないで終わってしまうと思いついて、積極的に子供達に声を掛けていく事にしました。

今回のボランティアを経験して、自分一人で行動する事はとても勇気がいるなと思いました。でも、せっかく自分に与えてもらったチャンスを生かすためには、少し勇気を出して、自分の気持ちを前向きにしていく事がとても大切だと感じました。

私の将来の夢は保育士になることなので、三年生の職場体験も、保育園やこども園に行きたいと思っていました。でも、希望の職種と全く違う所になってしまったので、とてもショックを受けていました。ちょうど落ち込んでいたその時に、サンカクカフェの方に声を掛けてもらったので、私は、職場体験をするつもりで、

しばらくすると、子供達も私に慣れてきたのか、手を差し出して抱っこしてと寄ってきたり、一緒ににおにごっこをやったりと、どんどん忙しくなり、あつという間に時間が過ぎていきました。そして、最後には子供達から手紙をもらい、充実感でいっぱいボランティア体験と

これから先の人生でも、自分で決断して行動していく事がたくさんあると思います。一人でも行動していける強さを身に付けて、自分の目標に少しでも近づいていけるように、これからは、何事にも前向きな気持ちで取り組んでいきたいと思えます。

受賞おめでとうござい
ます
令和元年度被表彰者

雲南地区保護司会

三木 弘道 法務大臣感謝状

春の叙勲 瑞宝双光章

村上 秀道 瑞宝双光章 R1・12・11伝達式

井上 禧宏 法務大臣表彰

長谷川庸雄 法務大臣表彰

土谷 文江 全国保護司連盟理事長表彰

熊谷 高暢 中国地方更生保護委員会委員長表彰

森合 俊雄 中国地方更生保護委員会委員長表彰

千葉 哲之 中国地方更生保護委員会委員長表彰

永田 一博 中国地方保護司連盟会長表彰

若月 薫 中国地方保護司連盟会長表彰

陶山 頼子 松江保護観察所長表彰

堀江三智江 島根県保護司会連合会会長表彰

齋藤 静代 島根県保護司会連合会会長表彰



サンレディー大田 (令和元年11月21日)

令和元年春叙勲 受賞に感謝
前会長 三木 弘道

平成から令和へ 祝賀ムードに包まれて新しい令和時代の幕明けがスタートし、まもなく令和二年を迎えようとしています。

そんな記念すべき令和元年春叙勲の栄に浴することになり、法務省に於いて叙勲伝達式、宮中に於いて令和天皇陛下より心温まるお言葉、拝謁を賜り感謝感激の極みでございます。

殊に私は、平成二十四年秋 藍綬褒章を賜りそれだけでも充分過ぎるのに七年後によもやのダブル受賞となり、勿体ない気持で一杯でございます。

両受賞共に妻と同伴で参加出来たことは、何より有難いことございました。これも偏に御教導賜った松江保護観察所所長様始め江湖の皆様方のおかげでございます。

保護司を拝命したのが昭和五十九年十二月爾来三十有余年の歳月が流れ、その間、雲南地区保護司会事務局長、副会長、会長の要職を務めさせて戴きました。素晴らしいスタッフに恵

まれ歴史の節目、節目の仕事が出来、感謝の念
しかございません。

保護司の任期も残り一年となり、静かにその
時を迎えたいと思います。

ありがとうございます ありがとうございます
ありがとうございました。(令和元年十一月末記)

受賞者の喜びの言葉

木次支部 村上 秀道

この度、図らずしも叙勲の栄に浴させて頂き
光栄に存ずる次第です。これも皆様方のご協力
ご尽力の賜物と厚く感謝申し上げます。有難う
ございます。

保護司って何をする仕事さえ知らず、入って
みて「わあ難しい仕事だ」と後から思うような
状態でした。しかし、よくよく考えて見ると僱
侶としてしなければならぬことではと思ひ
ます。

保護司の会に入ってもう三十数年たちまし
た。種々なケースを持たせて頂きましたが、そ

の中で「先生に会えて良かった」と言った子が
いました。自分の回りをみて違った環境の人も
いるのだと思つたのでしよう。そのような人達
の為にも少しでも役にたてばと思う次第です。

仁多支部 長谷川 庸雄

この度、更生保護制度施行七十周年、令和元
年の記念すべき年、新天皇皇后両陛下ご臨席の
もと、法務大臣表彰の栄に浴することができ
の上もない喜びでございます。

雲南地区保護司会にも多数の先輩の方々が
おいでる中での表彰で申し訳なく思っており
ます。

私も、平成十五年十二月一日から令和元年
十一月三十日までの十六年間で、歴代の会長様を
始め多くの皆様に大変お世話になりましたこと
厚くお礼申し上げます。

県内の犯罪も減少傾向にありますが、全国で
は毎日のように殺人事件、薬物違反が報道され
ております。このような犯罪や非行がない明
い町であることを願います。

本当にお世話になりました

大東支部 井上 禎宏

私が保護司になったのは平成十四年六月一
日、定年退職の約十ヶ月前でした。

最初に担当したのは約一年後、児童虐待をし
た方への対応でした。何が背景にあったのか
などを聞き、私の考えも入れながら松江保護観察
所への報告書を送ったりしました。

その後は、覚醒剤違反や万引き、交通違反の
方などを担当してきました。

こうした犯罪を犯した方の両親(祖父母)は
私とほぼ同じ年代で毎回の往訪・来訪は夜八時
頃でした。不肖の子供ほどかわいいという両親
の愛情ある心づかいにふれる度毎に、何とか仕
事先が見つかり親元で生活できるようにと願
いながら、つつ家路についたことを覚えてい
ます。

保護司就任後は、定例研修会に参加したり、
支部理事として働き多くの保護司の皆様方と交
流を深めてきました。今回、十八年間の任期を
終えるにあたり、計らずも昨年十月には、法務
大臣表彰を受けることになり「更生保護制度
七十周年記念全国大会」に参加出来たことは私
の深く喜びとする事でありました。

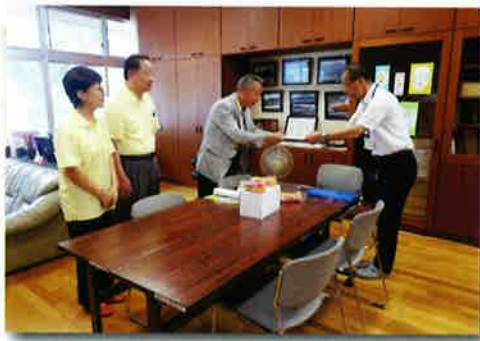
「社会を明るくする運動」の活動報告

学校訪問

石飛由美子

雲南地区保護司会掛合支部では「社会を明るくする運動」の一環としての作文依頼を掛合町内小中学校へしています。そして、中学三年生への「薬物乱用防止教室」も毎年実施しています。「みなさんが元気で大きくなってくれるよう見守っていますよ」というメッセージを伝えるに学校へおじゃまをします。「社会を明るくする運動」の印入の粗品持参です。おかげさまで作文は毎年数点は応募いただきましたうれしいかぎりです。

私たち保護司が、時を見つけて学校訪問をさせてもらおうということがまずは第一歩であろうと思っています。



仁多支部の活動から

森合 俊雄

八月に、仁多福祉会三成功児園年長児、三沢幼児園年長・年中児を対象として、絵本のおはなしと塗り絵をしました。

初めに「はらぺこあおむし」の人形劇をして緊張がほぐれたところで、更生保護協会発行の絵本「コウくんときいろいはね」の読み聞かせを行いました。「悪いことをしたら、謝ろうね」のメッセージを真剣な表情で受け止めていました。後半は、更生ペンギンのホゴちゃんサラちゃんの塗り絵を楽しみ、キャラクターへ



の親しみを感じてもらえたのではないかと思います。

また、園を通じて家庭へ広報チラシや親子で楽しめる紙工作用紙をお渡ししました。親子の会話の一つになったのではないのでしょうか。

はじめての幼児園訪問でしたが、毎年の自主研修会やショッピングセンター店頭での啓発チラシ配布などとともに、今後も続けていきたいと考えています。



令和元年度

雲南地区協力雇用主会開催！

九月二十五日、二年ぶりに雲南地区協力雇用主会を開催しました。現在、本会への加盟事業所は二十五事業所です。この日は、そのうちの九社、十人の加盟事業所の皆様と穂坂英樹松江保護観察所長、三木弘道前保護司会長、山本勝昭前事務局長にも出席いただき、総勢十九名の参加で行われました。



穂坂松江保護観察所長より、「再犯防止の推進と刑務所出所者

等の就労支援について」と題し、更生保護の担い手としての保護司・雇用主の役割について、基本的な考え方や法的根拠を踏まえ、就労支援の課題や取り組みについて丁寧にご講話いただきました。その後、藤原事務局長より、保護司会の現況報告を行い、意見交換に入りました。

現時点では雇用している事業所はありませんが、過去の事例などをお話しいただく中で、対象者の就労は更生するためには欠かせないことではあるが、狭い地域での雇用の難しさ、職場内の人間関係、本人の就労意欲の欠如等、その取り組みにはかなり大きな課題もあるという現実も見えてきました。

今後さらに、雇用主と保護司が手を携え、「更生の担い手」として共に歩んでいかなければならぬとの思いを新たにしました。

新旧保護司紹介

退任保護司

発令年月日	氏名	住所
令和元年 11月30日	おちあい 落合 慧 <small>さとし</small>	雲南市掛合町松笠
	はせがわつねお 長谷川庸雄 <small>お</small>	奥出雲町下阿井
	やまもと 山本 勝昭 <small>かつあき</small>	奥出雲町三成

新任保護司

発令年月日	氏名	住所
令和元年 12月1日	きしの しゅんいち 岸野 俊一 <small>しゅんいち</small>	雲南市大東町大東
	つかもと りょうじ 塚本 良二 <small>りょうじ</small>	飯南町上赤名
	うぎ まさし 卯木 昌史 <small>まさし</small>	奥出雲町上阿井
	すぎやま ちえみ 杉山千恵美 <small>ちえみ</small>	雲南市掛合町松笠

退任によせて

掛合支部 落合 慧

保護司を拝命して以来退任の満期である十一月末日を迎えられたことは、偏に雲南地区保護司会の先生方のご指導と御協力のお陰であり、長い間お世話になりましたこと厚くお礼申しあげます。

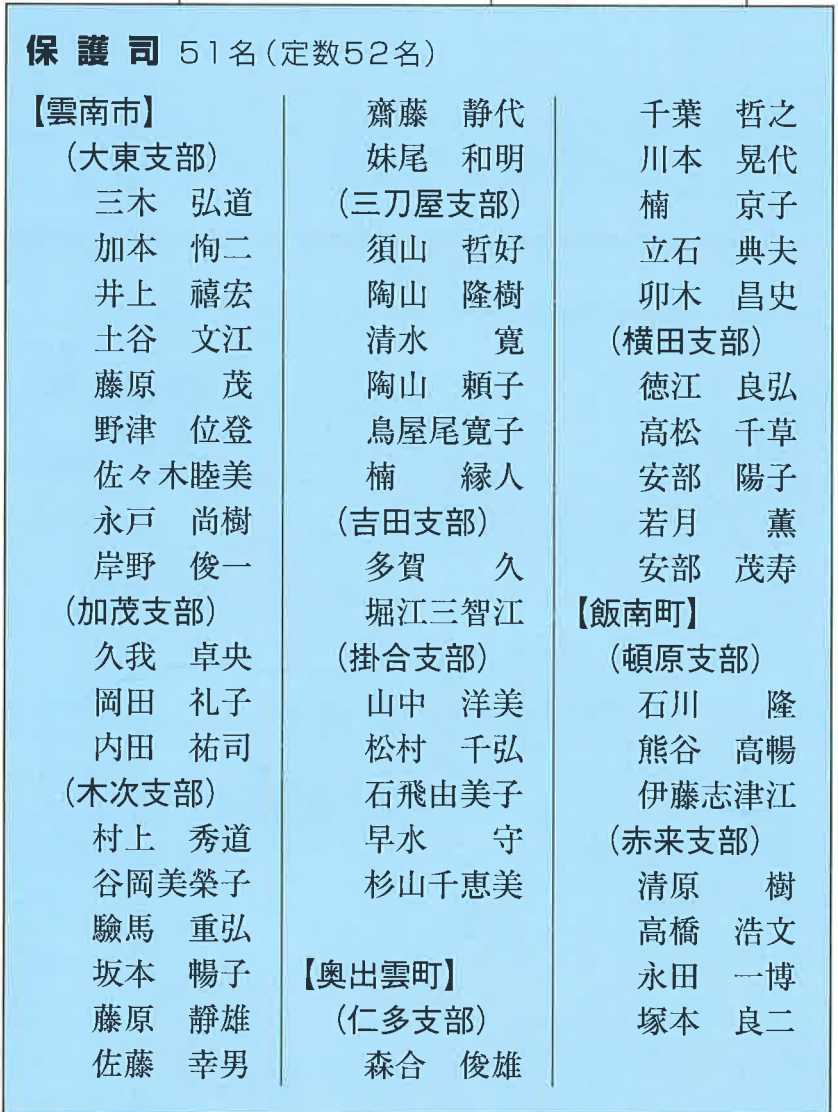
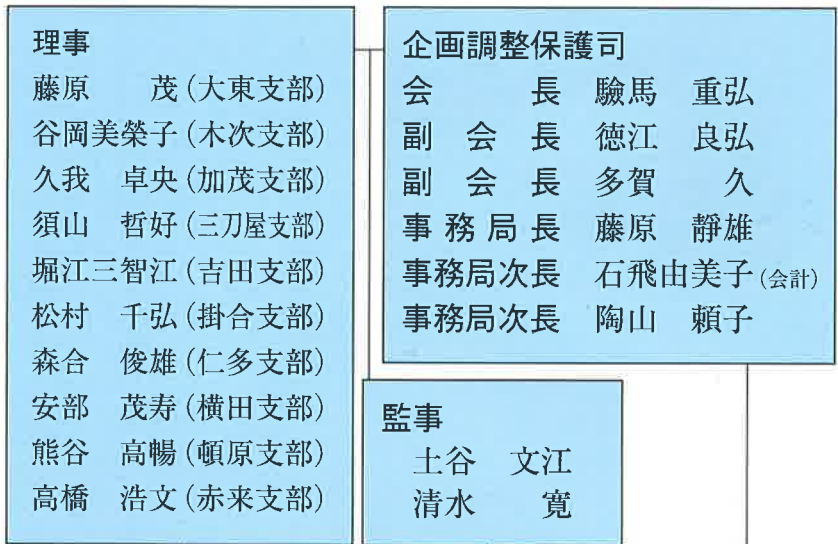
今日では、犯罪の傾向が約三十年前(拝命の頃)とは変わってきております。それは、社会環境の変化であります。特に地域社会・親子関係など家族形態・友達・友人・勤務先などで大きく変化してきました。犯罪者は、その社会環境に順応ができなくなり、犯罪をおかすこととなる者がいます。

保護司は、常に犯罪のない社会を目指して、常に啓発活動が大切です。「罪を憎んで人を憎まず」とあるとおり、環境調整の対象者と接する際には、その犯罪の背景をしっかり見つけ対処し、取り除いて更生させてほしいと願っております。

最後に雲南地区保護司会の発展と犯罪のない明るい社会を祈ります。

令和元年度雲南地区保護司会組織図

(令和元年12月1日現在)



編集後記

今年、平和の祭典オリピックが開催されます。多くの訪問客を迎え、世界の人々も関心をもって日本を見ることでしょう。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」令和の時代の到来が、この祭典を通して見られることに期待しています。

選手たちがルールに従い、力の限り競います。

合い、そしてお互いの健闘をたたえ合う姿は、ラグビーワールドカップの感動を思い起こさせることでしょう。そして、それを見る人たちの心にも変化をもたらすはずですよ。お互いを尊重し、慈しむ「こころ」の美しさに触れたとき、人の心は自然に穏やかになります。その人の心の平安が、明るい社会の基となり、平和への礎となることを願っております。

(妹尾)

編集委員長	妹尾和明
編集委員	岡田礼子
編集委員	若月薫
編集委員	早水守
編集委員	永田一博